

秦野市における環境的に持続可能な交通（EST）モデル事業

事業概要

秦野市は、「環境にやさしい安全なまちづくり」等の基本方針のもと、望ましい将来都市像に対応した交通計画を策定した。

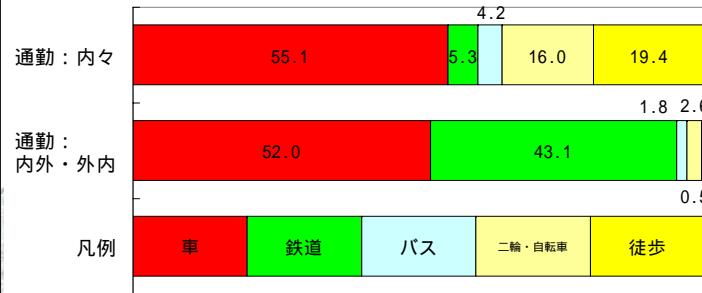
さらに短中期的な施策として「秦野交通スリム化プロジェクト」として、近隣工業団地等における通勤時の交通マネジメント、PTPSによるバス走行改善、ノーマイカーデー、短距離区間の自転車通勤支援策、TDM教育等を行い、公共交通の利用を促進し自家用自動車に過度に依存しないまちづくり・交通体系の構築によりCO2削減に資することを目的とする。

目標

平成20年度までに
通勤とその他車利用のCO2排出量を
約3.5%削減（H17年度比）

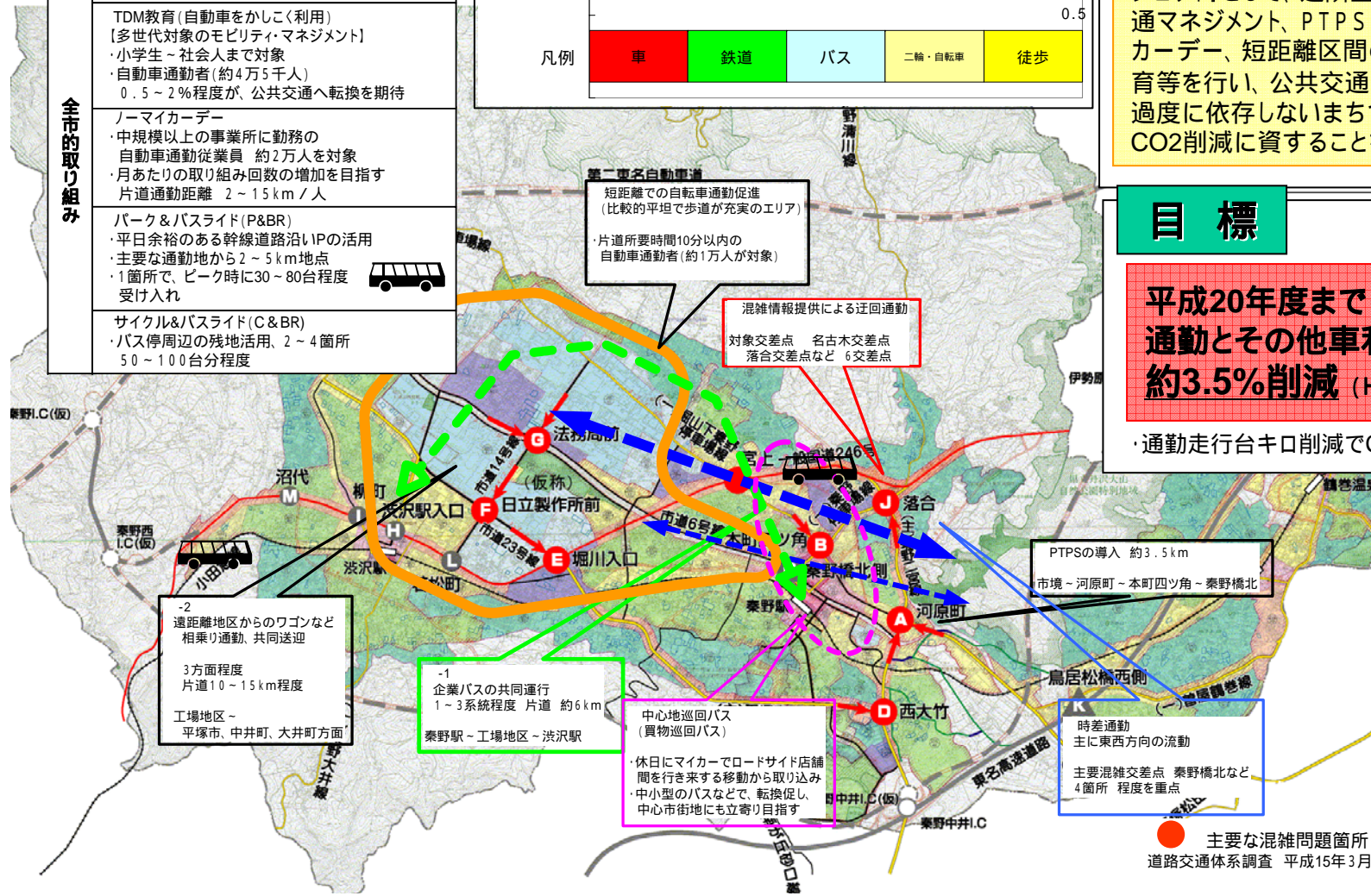
・通勤走行台キロ削減でCO2 2.9%削減 等

秦野市の交通手段分担（平成10年PT）



全市的取り組み

- カーフリーデー
年に1回の実施、本町地区など
- TDM教育（自動車をかしく利用）
【多世代対象のモビリティ・マネジメント】
・小学生～社会人まで対象
・自動車通勤者（約4万5千人）
・0.5～2%程度が、公共交通へ転換を期待
- ノーマイカーデー
・中規模以上の事業所に勤務の自動車通勤従業員 約2万人を対象
・月あたりの取り組み回数増加を目指す
・片道通勤距離 2～15km/人
- パーク&バスライド(P&BR)
・平日余裕のある幹線道路沿いPの活用
・主要な通勤地から2～5km地点
・1箇所、ピーク時に30～80台程度受け入れ
- サイクル&バスライド(C&BR)
・バス停周辺の残地活用、2～4箇所
50～100台分程度



● 主要な混雑問題箇所
道路交通体系調査 平成15年3月